

ボランティア OSAKA



第31号

2003
WINTER

●発行●

(福)大阪府社会福祉協議会
大阪府ボランティア・市民活動センター



特集

多くのボランティアが支えた
「アジア太平洋障害者の十年」
最終年記念 大阪フォーラム

●市町村ボラ連 Vサイン No.20

多くのボランティアが支えた

「アジア太平洋障害者の十年」 最終年記念 大阪フォーラム



昨年の10月21日、23日の3日間、「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念大阪フォーラムが開催されました。

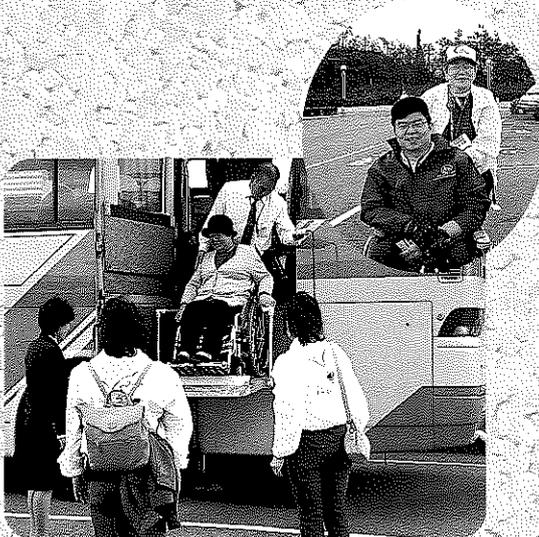
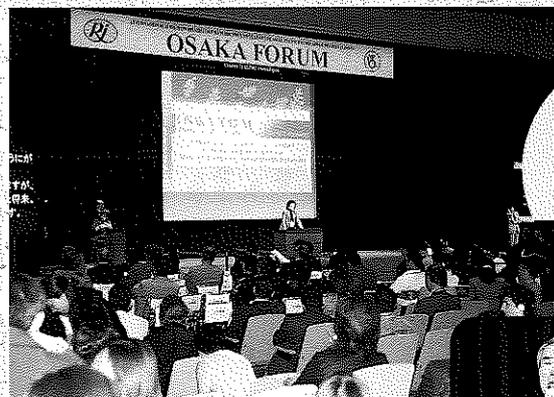
「アジア太平洋障害者の十年」とは、1981年の国際障害者年と国連障害者の十年（1980s～1990s）に続いて、国連アジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）が北京で開催された第48回年次総会（1996年）で、1996年から2002年までを「アジア太平洋障害者の十年」と宣言したことに始まります。宣言では、この十年間に取り組むべき最も緊急な12の行動課題を決議し、十年の間、アジア太平洋地域においては、障害者の人権と完全参加と平等を推し進め、また保障するために各国政府のみならず民間サイドでも多大な努力が払われてきました。

そして十年間の民間におけるさまざまな活動の中で、特筆すべきものの一つとして、「アジア太平洋障害者の十年推進NGO会議」（RNN）が毎年開催してきた一連の地域キャンペーンが挙げられます。これは1993年に沖縄の浦添市でスタートし、別表のように各国をまわって最終年の昨秋、大阪で開催されました。

大阪フォーラムでは、第12回リハビリテーション・インターナショナル（R）アジア太平洋地域会議、アジア太平洋障害者の十年推進キャンペーン（RNN）大阪会議、総合リハビリテーション研究大会（総合リハ）、そして国際職業リハビリテーション研究大会（職リハ）という4つの大きな国際会議と分科会が、大阪国際会議場、堺市のビッグ・アイ（国際障害者交流センター）、大阪市内の大阪国際交流センター、アミティ舞洲などで開催。そして10月20日には前夜祭が、23日には後夜祭が、メイン会場のビッグ・アイ（国際障害者交流センター）で楽しく盛り上げられました。

この前夜祭・後夜祭をはじめ、各会場では案内、誘導、介助、通訳などに延べ500人のボランティアが活躍。裏方として大会を支えると同時に、期間中は随所で交流の輪が広がりました。

- | | |
|------|------------------|
| 1993 | 沖縄 |
| 1994 | マニラ（フィリピン） |
| 1995 | ジャカルタ（インドネシア） |
| 1996 | オークランド（ニュージーランド） |
| 1997 | ソウル（韓国） |
| 1998 | 香港（中国） |
| 1999 | クアラルンプール（マレーシア） |
| 2000 | バンコク（タイ） |
| 2001 | ハノイ（ベトナム） |
| 2002 | 大阪 |





現場で
mini
インタビュー

状況を判断しながら、
臨機応変に対応しました
東節子さん

和泉市のボランティア市民プラザ「アイ・あいロビー」からは、アイ・あいロビー運営委員長の東節子さんら5人のボランティアが参加。それぞれの持ち場に配置され、誘導や介助、通訳などに活躍しました。

「外国の方から、ホテルへのバスは何時に出るの? …と質問を受けたり、疲れたので車椅子が欲しい…といったリクエストがありましたが、なんとか対応することができました」と東さん。和泉市で国際交流のボランティア活動をしていることもあり、日頃の外国人との交流経験が役立ったようです。

「参加者が多いこうした国際的な催しでは、予定したスケジュールが遅れたり、予期せぬハプニングも起こりがち。主催者も大変だったと思いますが、私たちボランティアも状況を的確に判断しながら、臨機応変に動くことが求められます。

あらためて『自発性』がボランティアのキーワードであることを痛感。いい経験をさせていただきましました」と語っていただきました。



外国からの参加者も、よさこい踊り



前列中央が東さん



隣のボランティアビューローも“出店”

前夜祭

10月20日

ステージでの歌や踊りと、
タコ焼き・焼きソバなどの模擬店で参加者を暖かく歓迎



たこ焼きコーナーもボランティアで

10月20日の午後5時から、約1500人が収容できる堺市のビッグ・アイ(国際障害者交流センター)多目的ホールで、盛大に前夜祭が開催されました。当日はあいにくの雨で、屋外で予定していた催しを急ぎよ多目的ホールに変更。ステージでは沖縄民謡によるオープニングを皮切りに、歌や手話コーラス、ゴスペルや勇壮なよさこい踊りが賑やかに演じられました。また玄関付近の屋外では、地元地域(南区域自治連合会)の皆さんの協力による、たこ焼きや焼きソバなどの模擬店も出店。また地元さかいの紹介コーナー(堺の観光案内、障害者作業所の授産製品の紹介・販売、さかいのボランティア紹介など)も設けられ、海外からの参加者を多くの府民ボランティアが暖かく歓迎しました。



前夜祭では、NPO法人「青少年育成審議会J.S.I」の皆さんが多数ボランティアとして参加、大いにリーダーシップを発揮してくださいました。



勉強している中国語の腕試しを兼ねて
村山松生さん

金融関係の会社に勤め、長居障害者スポーツセンターのボランティアグループに所属している村山松生さん(57歳)は、中国語の通訳でボランティア参加。ご自身2種3級の障害者ですが、奈良で手話サークルに参加したり、堺国際芸術芸能フェスティバルにも参加したり…とボランティア経験は豊富です。語学ボランティアは今回が初めてとのことですが、「10年ほど前から勉強している中国語の腕試しを兼ねて」参加したそうです。

「車椅子がなくなった…とか、車椅子の空気を入れて…といった中国の方のリクエストに対応しましたが、お役に立てて大満足。中国語にもいささか自信ができました」。数少ない、現役サラリーマンでボランティア参加したお一人です。(写真右端)



前夜祭ステージプログラム



ハーモニーも抜群の「Gospel CODE」のゴスペル



オープニングを飾った「先間盛一民謡研究所」の皆さんによる沖縄民謡



「ふれあいサークル手話隊」による手話コーラス



「赤とんぼ」のコーラス



エンディングを盛り上げた「泉北すきやねんチーム」による、よさこい踊り



世界で歌による福祉活動を展開している北原由紀さんと、ヒバリー・クロスビーさんによる歌



大阪国際 会議場

10月21日

案内、誘導、介助、通訳などに揃いのブルゾンで大活躍

大会初日となる10月21日は、大阪国際会議場で開会式、基調講演、パネルディスカッションなどが行われました。

フォーラムは、視覚障害者10人による勇壮な「翔龍太鼓」で開幕。嵐谷安雄大阪フォーラム組織委員長の辞に続き、八代英太最終年記念フォーラム組織委員長、レックス・フリーデンロー（リハビリテーション・インターナショナル）会長による主催者あいさつ、太田房江大阪府知事などの来賓あいさつがあり、予定されたプログラムが進められていきました。

ここでも、多くのボランティアが揃い

のブルゾンで大活躍。「大きな国際会議で活動できて嬉しい」といった声が多く聞かれました。



手話通訳は、言葉が 通じなくてもできるんです 山田智子さん

現場で
mini
インタビュー

会場で、手話通訳に従事していたのが枚方市の山田智子さん。地元の枚方では、約70名の会員を擁する手話サークル「青柿」に所属しています。ちなみに「青柿」は28年前に発足したという老舗の手話サークルです。今大会の手話通訳には、「青柿」などが加盟する大阪手話サークル連絡会、大阪手話通訳問題研究会（大通研）、ろうあ連盟から多くのボランティアが参加したとのことですが、「手話は視覚的なものだから、言葉が通じなくても30分もあれば意思疎通できるんです。迷子になられて（自分が乗るべき）バスはどれ？…とか、トイレはどこ？…、上に移動したいのだけれどエレベーターはどこ？…といった質問に対応させていただきました。なかには伊丹の空港からどこそこに移動したいのだけれど…といった質問もありましたが、大きな国際大会でお役に立ててうれしいですね」と笑顔で語ってくれました。（写真右端）



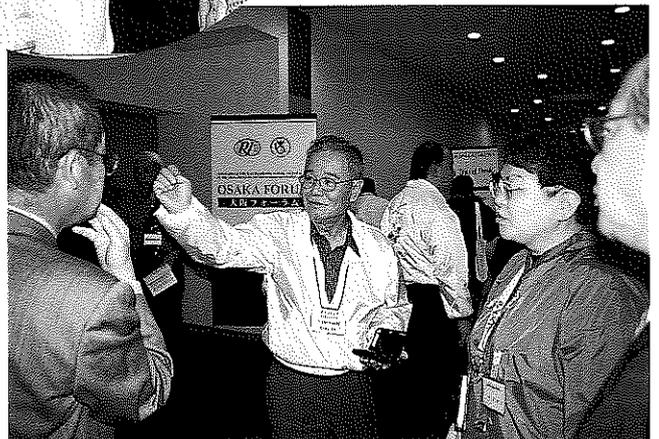
「サンキュー」と 言ってくれるのが嬉しいですね 通訳ボランティアの皆さん



国際会議場で英語などの通訳にあっていたのが、野田真理子さん、宮本津由子さん、奥山貢さん、堀久仁子さん、柿元美恵子さん、白井由美子さんの6人。「今回のボランティア募集は岸和田市役所で知ったんですが、充実感がありますね」と柿元美恵子さん（後列中央）。ボランティアは初めてだそうです。「何をしてもサンキューと言ってくれるのが嬉しい」と語るのは白井由美子さん（後列右）で、「高槻都市交流ボランティア」という団体に所属しているとか。



会議終了後、レセプション会場を案内するボランティア



アミティ舞洲

10月22日

分科会も支えた多くのボランティア

10月22日、アミティ舞洲では「RN N」「総合リハ」の分科会などが行われましたが、午後から大会参加者はUSJを見学。この日も大会会場で、USJで多くのボランティアが活躍しました。



のぼりがたなびくアミティ舞洲



車椅子の参加者の移動介助も大事なサポート

現場で mini インタビュー

英語の通訳ボランティアとして参加 宮口英士さん



アミティ舞洲で、英語の通訳として活躍していたのが車椅子で参加した宮口英士さん。英語は高校卒業後、独学で勉強したそうですが、会場受付で参加者にてきぱきと応対。その素敵な笑顔が印象的です。



コーディネーターの振り返りノート

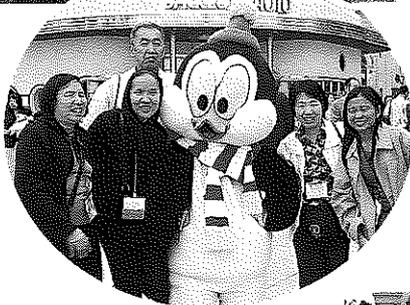
大阪市社会福祉協議会 福祉企画課長 竹村安子
予期しないスケジュール変更などで、ボランティアの皆さんにはいろんな場面でご迷惑をおかけしたと思います。まずはそれをお詫びしなければなりません。しかし、あの混乱した現場で、皆さん本当によく頑張ってくださいました。業者は事前に決められたことしかやってくれませんが、さすがにボランティアの方々には積極的に、かつキメ細かく参加者に対応されていました。国際会議場は暖房のせいかもしれませんが、そんなときに率先して飲み水の用意が必要という気づきをしたり、またお弁当の配付、最後の案内・誘導に至るまで本当に大活躍されました。舞洲でも同様で、見学コースのバス到着・出発が予定より大幅に遅れましたが、そんなときにも皆さん、臨機応変に動いてくださいました。



今回は一般募集を基本にしたこともあり「ボランティアは初めて」という人も多かったようです。しかしそんな中でボランティア同士の交流も生れ、私たちコーディネーターする側も含め、今後、国際会議におけるボランティアのありようを考えていく上でもいい経験をさせてほしいと思います。ご協力いただいたすべての皆さんに、あらためてこの場を借りてお礼申し上げます。



ここでも通訳ボランティアが活躍



ぬいぐるみと一緒にの写真も、ボランティアがカメラマン



22日、アミティ舞洲のプログラムに参加した各国からの皆さんは、プログラム終了後USJを見学。USJでは食事会も催され、各テーブルでは交流の輪が広がりました。



日本を代表するテーマパークで、 海外からの参加者と交流



バスを降りたところで、ハイ・チーズ!

USJの中でもボランティアがエスコート



コーディネーターの振り返りノート

大阪府ボランティア・市民活動センター 西原弘将



4月から準備がスタートし、いろいろ打ち合わせをしましたが、これだけの国際会議となると経験した人も少なく、随所で不手際があったかと思えます。しかしボランティアの皆さんが、自発性を発揮して大会を支え、盛り上げてくださいました。USJではボランティアがフォーラムの参加者と一緒に楽しむ光景も見られ、まさに国際交流の場面でしたね。大きな催しの募集や広報についても勉強になり、社協の職員としていい経験をさせていただいたと思っています。皆さん本当にありがとうございました。



大阪府ボランティア・市民活動センター 門林加奈子

関西空港での出迎えなど、主要ターミナルでの案内・誘導のコーディネートも、土・日ということもあり「仕事では日常的に外国語を使っているけれどボランティアで使うのは初めて」という人も多かったように思います。待ち時間が長かったせいもあり、ボランティア同士が仲よくなられて予期せぬ交流が図られたのが印象に残ります。また、大阪府市町村ボランティア連絡会の皆さんも大いに頑張ってくださいました。これをステップに、大阪のボランティアをさらに盛り上げていきたいですね。

後夜祭

10月23日

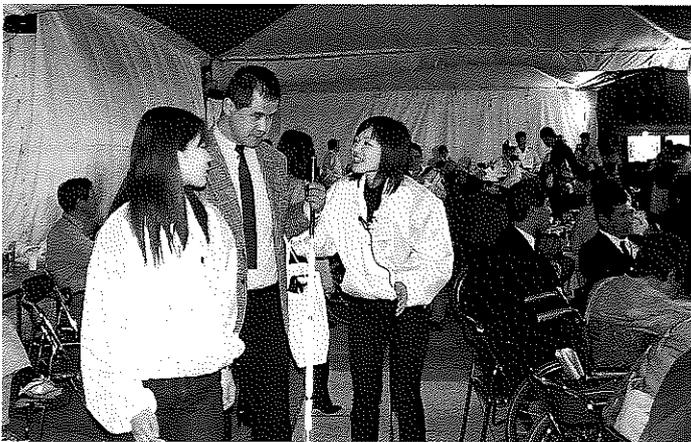
みんな揃って
「上を向いて歩こう」を大合唱

大会最終日の10月23日には、前夜祭と同じくビッグ・アイにおいて後夜祭が催されました。後夜祭のオープニングは、ふるさと会（精華サークル）による銭太鼓。続いてウイルチエアーダンス、ギター演奏、アフリカ民族音楽などが演奏さ

れ、最後は参加者と一緒に「上を向いて歩こう」を大合唱、3日間のプログラムは無事終了。ここでも多くのボランティアが誘導、介助、通訳、後片付けなどで大活躍しました。



打ち合わせをして、それぞれの持ち場を確認



現場で mini インタビュー

大勢の皆さんとの
出会いに感謝しています
ふるさと会（精華サークル）

銭太鼓のふるさと会（精華サークル）は、大阪市の老人大学（いちょう大学）の修了者が中心となって結成されたグループ。「大阪市内の精華小学校で、毎月第一・第三火曜日に練習しています。今日も大勢の皆さんとの出会いができ、感謝しています」と代表の細井美穂さん。この日の演目は、花笠音頭、箱根八里の半次郎、河内男節の3つでしたが、年齢を感じさせないパチさばきに大きな拍手が送られていました。



インドからの参加者が
飛び入りで熱唱



飲食コーナーでも話が弾みます



**大学の仲間と
参加しました**
斉藤由美子さん

前夜祭に続き、和泉市の「アイ・あいロビー」からは桃山学院大学の学生さんたち多数がボランティア参加。それぞれの持ち場で後夜祭を支えました。リーダー格の斉藤由美さんは4回生。泉州地区のボランティア会議で今回のボランティア募集を知り、友人を誘って参加しました。「後夜祭終了後、参加者の皆さんはバスで各ホテルに帰られるんですが、その案内とお見送りをしました。後夜祭の最中は荷物預かりをされていて人と接していなかったのが、最後に大勢の方々をお見送りできて大満足。また海外からの方々の満足そうな笑顔も印象的でした」と斉藤さん。福祉系の仕事をめざす彼女にとって、有意義なボランティア体験となったようです。



中央列、左が斉藤さん



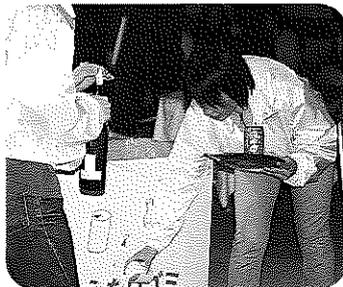
「まゆみ劇団」の
ウィルチェアー（車
椅子に乗っている
人）ダンス



オープニングを飾った
「ふるさと会（精華サー
クル）」による銭太鼓



「Hanna」さんと
「北野仁史」さんの歌と
ギター演奏



後かたづけも大事な仕事。黙々と頑
張りました

障害児や精神障害者とも
交流している「ひき
たま」さんによるアフ
リカ民族音楽



堺市社会福祉協議会ボランティア相談員 小高友美子
堺社協のボランティア相談員をしていただきま
で、4日間のコーディネートをさせていただきま
した。現場では混乱した場面もありましたが、皆
さんのボランティアマインドで大きなトラブルも
なく終了できました。何人かは障害をもつボラン
ティアさんもおられたのですが、皆さん積極的に
活動されていたのが印象に残ります。またステー
ジの出演者もほとんどがボランティアで、前夜祭
後夜祭を盛り上げてくださいました。模擬店も好
評で、タコ焼き、焼きソバなどは250人分用意
しましたが、すぐ品切れになりました。皆さん本
当にお疲れさまでした。

「コーディネーターの振り返りノート」
堺市社会福祉協議会 地域福祉課 宮崎浩二
堺は、日ごろ障害者福祉の分野で活動されて
いるボランティアさんが多かったように思いま
す。そんな方々が語学ボランティアさんと一緒
になって、身振り手振りで通訳されている姿が印象
に残ります。それと、学生からシニアまで、いろ
んな世代の皆さんに各地から参加し
ていただいたのも良かったで
すね。シニアの方が懸命に
不慣れた通訳をされて、
海外からの参加者に逆に
感激していただいたり、
中には遠方からの人もい
て「和歌山から始発に乗
って来ました」という人
も。後夜祭に至るまで、全
員で頑張った4日間でした。



北摂

第17回たかつきふれあいひろば 今年も賑やかに・多彩に開催

11月2・3日の連
休、JR高槻駅前で
「たかつきふれあいひ
ろば」が今年も賑や
かに開催されました。この催物は、昭和62年から市社協とボラ連が、障害児者団体や作業所連絡会などに呼びかけ



て始まったもので、福祉活動への理解と参画を促す啓発イベントとして、今年で17回目を迎えます。
毎年4～5千人の市民が参加しており、福祉バザー・作業所の作品販売・模擬店・演芸ひろば・ビンゴゲーム、また、協賛団体である市内の4つのライオンズクラブが、60キロ

のもち米を声も高らかに掲げあげると、待ちかねた長い行列から歓声上がるなど、ふれあい、交流の場として定着しています。

会場では、腎臓バンクや盲導犬の啓発と並んで、ボランティア市民活動センターに事務局を置く新しい市民活動団体の「市民が創る花時計実行委員会」が、みんなで駅前にかいいな花時計を創るための募金をよびかける活動も行いました。

ボランティア市民活動センターが実施している福祉バザーでは、毎年多くの市民から中古衣料やあらゆる雑貨品の持ち込みで、本番1ヶ月前からセンター内は倉庫状態になります。
天井まで届くほどに積み上げられた品物に埋もれ

て、ボラ連の各グループの皆さんが整理、値付けに追われます。このバザーの収益は、センターの啓発事業やグループの周年事業などの助成金、NPOの立ち上げ支援などとして活用されます。また、海外支援活動に寄付したり、災害時の救済活動資金として積み立ても行っています。

毎年、沢山の提供品に感謝しながら、一方で、バブルがはじけた後も市民の生活習慣は容易に変わることはない利便性第一の使い捨てスタイルが続いていることが何われ、売れ残った雑貨や女性衣料の山をながめながら複雑な思いにかられる秋でもあります。

高槻市ボランティア・市民活動センター
矢形律子

河北

大東市で「河北ブロック交流会」

11月29日、
「河北ブロック交流会」
が大東市

で開催されました。府V連絡会会長、府V・市民活動センター所長をはじめ、各市のV連絡会代表者と社協職員等、40名が参加しました。
大東市での交流会開催は2回目。早くから工夫を凝らした案が出され、念入りな準備が行われ



ていました。

大東市V団体連絡会山田会長の挨拶で始まった交流会は、日本語V「バステル」が作った外国のお菓子と飲み物が出され、いつもより和やかな雰囲気が出されました。トマトピューレで炒めた具をとうもろこし粉の生地で包んだグ





アテマラの揚げ菓子、モコチンチというポリビアの干し桃のジュースなど、参加者には興味深く召し上がっていただけでした。

大東市のV活動報告では、パソコンV『パソコン救』が各団体の活動写真を分かりやすくパソコンソフトにまとめ、音訳V『ともしび』が「さすがー」のナレーションを披露、大東市として最大のアピールになったようです。

二部では、府ビューティーケア赤字奉仕団『麗人会』によるグループ形式での実習がにぎやかに行われました。相手の腕などやさしくマッサージすることによって、心を和らげぬくもりとやさしさを伝え合うというもの。簡単なマッサージですが、人の手で受けるのはとても心地良いもので、初対



面なのに「他人と思えないわっ」なんて言い合う声も聞かれ、盛り上がった交流会となりました。

大東市社協・M・O



河南

河内長野市の新施設で 河南ブロック交流会を開催

10月16日、各市町村ボラ連から42名が参加し、この夏オープンしたばかりの河

内長野市市民交流センターで交流会を実施しました。したがって、この報告は開催地の立場で書かせてもらいま

す。会場の建物は愛称が「キックス」。市立図書館との複合施設で、ボランティア活動など「生涯学習」の拠点として建設されました。

午前中は、大阪府社協の森茂輝所長から「ボランティア・市民活動センターの試み」と題して講演があり、キックスなど、各地の施設が行なうプラットフォーム型サービスの意義と、それへのボランティア側の関わりの重要性が語られました。

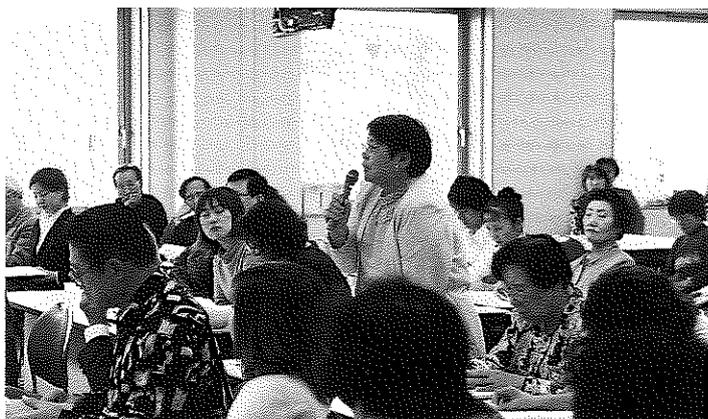
この講演の間、地元ボラ連の会員60名余りがキックスの食工房（調理室）に集まり、初めて使う設備や器具に戸惑いながら、日頃の活動の成果を見せようと昼食の準備をしていました。河内長野ボラ連では全体的な交流行事を年一回は実施していますが、今年はその機会がなく、この交流会を利用して研修交流の場としました。ふだんとは違って、さまざまな献立と百食以上の調理は大変でしたが、バイキング形式に並



べるとなかなか壮観で、出席者の皆さんに試食してもらいました。会場の生花なども、会員が朝早く摘んできたものが飾られ、河内長野らしい風情が出ていました。
 午後は情報交換です。5年前にも行



なった各市町村ボラ連の状況調査を今回も実施したので、会場で配布された資料でおよそは判り、質疑が飛び交いました。キックスのトイレの表示に色の区別がないのは、果たしてジェンダーギャップの解消になるのかも話題になりました。河内長野ボラ連からは、今年春の『ボラ大阪28号』に載った小学校での点字学習の教案を紹介し、アイデアの交換を呼び掛けました。
 オプションの施設案内では、出遅れた人が迷子になる手違いもありましたが、市立図書館の様子を見てもらったり、その中に設置された音訳録音室や点字プリント室の紹介などをする事ができてホッとしました。
 広報部会河南ブロック担当：宮田



泉州

12000人の来場者で賑わった
 「和泉ボランティアフェスティバル2002」

11月23日(祝)、和泉市ボランティア市民プラザ「アイ・あいロビー」にて

「和泉ボランティアフェスティバル2002」が開催されました。今年も絶好のイベント日和となり12000人の来場者で賑わいました。

今年、「あなたもちょボラ！わたしもちょボラ！いつのまにか大きな愛」(ちょボラとはちょっとボランティアの意味です)というテーマに沿って、6つのコーナー(出会いステージ、「アイ・あいロビー」、アムゼモール通路、たすけあい広場、ふれあい広

場、フリーマーケット)から構成されました。

ステージでは、和泉市社協会長辻村氏のご挨拶と和泉市長稲田氏の祝辞の後、登録ボランティアグループの皆様によるそれぞれの活動発表が次々と披露され、大いに会場のムードが盛り上がりました。「アイ・あいロビー」内では小物づくり、エコクッキング、パソコンで作る年賀状、たすけあい広場・ふれあい広場においては手話、点字の勉強、ガールスカウト、ボーイスカウトコーナー、折り紙、ちょボラカード等、ボランティアの人たちと来場者と交流ができました。一般募集をしたフリーマーケットも大盛況。最後にスタンブラリーの景品の自転車があったる抽選会では、期待で胸を膨らませる人たちの一喜一憂の音が響くなど、最後まで興奮さめやらぬひとときとなりました。

Hello! ボランティアセンター

登録ボランティアグループのリーダー会 岬町社会福祉協議会ボランティアセンター

泉南郡岬町深日3238-24
TEL 0724-92-5700
FAX 0724-92-5701

「個人登録」をベースにした全町的な活動

大阪府の最南端に位置する岬町は、人口約2万人の海と緑の町。南海電車の特急が停まる「みさき公園」駅から多奈川線に乗り換え、二つ目の「深日港」駅からすぐのところ岬町ボランティアセンターはあります。

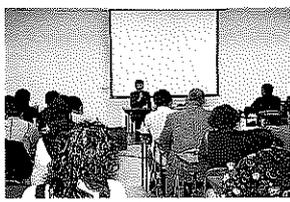
「当ボランティアセンターの特徴は、主として個人登録を基本にしていることです。現在、約300人の皆さんがボランティア登録をされていますが、そのことで、居住する地域や、所属する団体の枠を越えて活発に活動していただいています」と社会福祉協議会の副会長であり、ボランティアセンターの運営委員長でもある藤原法子さんは語ります。



運営委員長の藤原法子さん
(右)とコーディネーターの
宮本弘子さん

個人登録した皆さんは、社協がコーディネートする18のカテゴリーに分かれて活動。特養や障害者施設など3つの福祉施設と、小地域ネット、いきいきサロンの活動や、移送・リサイクル・広報・給食、在宅サービス...といった分野別活動に分かれますが、「ほとんどの方が3~4つを掛け持ちでやっておられます。そのことで活動場所、活動分野ごとの連携も図れ、岬町の地域性を活かしたコーディネートに重点を置くことでボランティア活動全体の活性化につながっていると思います」とも藤原さん。また、ユニークなところでは「理髪ボランティア」「代筆ボランティア」といった活動もあり、前者はプロの理髪士さんの協力で行われているそうです。

さて、取材の日は毎年恒例のボランティアスクールが開かれていました。今年度は昨年度に引き続き「精神保健福祉ボランティア」をテーマとしたスキルアップ講座。約80名の参加者は当事者の方の報告をはじめ、講師の話に熱心に耳を傾けていました。「まだまだ新人ですが、皆さんに助けられながら岬町のボランティア活動の一層の活性化に取り組んでいきたい」と語るのは、コーディネーターになって一年半の宮本弘子さん。そして「今後は、岬町ボランティアセンターとして広域的な視野を持った担い手を創造し、ボランティア活動の拠点づくりなどにも積極的に取り組んでいく予定です」と藤原さんと宮本さん。潮の香りと故郷の匂いが漂う町の、素敵なボランティアセンターです。



11月に開かれたボランティアスクール

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター

豊中市中桜塚2-28-7
TEL 06-6841-9393
URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

昨年7月、商店街のなかに新規オープン

昨年7月、新しい場所に新規オープンした豊中市ボランティア活動推進センター。その後、市民からの公募で『ぶらっと』と愛称も決まり、エンジンはいよいよフルスロットル!です。



若い人も気軽に入れる『ぶらっと』

「この強みは、なんと言っても抜群のロケーション。阪急岡町駅から豊中市役所に至る商店街の中にあり、前面ガラス張りの明るく開放的な雰囲気です。以前の相談件数は年間約1,000件でしたが、ここに移ってから毎月の相談件数は約400件に急増。ボランティア団体連絡会の協力で『ボランティアはじめま専科』というプログラムも始まり、みんなで嬉しい悲鳴をあげています」と勝部さんらコーディネーターの3人は口を揃えます。

『ぶらっと』の愛称には「ぶらっと気軽に立ち寄れる場所」「プラットホームのように人や情報が行き交う場所」という意味が込められていますが、市内のボランティアグループが交替で当番にあたりアドバイザー役を担っています。

豊中と言えば「企業・団体のボランティアネットワークとよなか」の活動でも知られていますが、開設時には備品・図書等の寄付が企業や市民から多く寄せられたとか。また「市社協ボランティア団体連絡会」の45加盟団体と協働で実施したヒューマンカーニバルでのバザーの収益が『ぶらっと』の運営費にあてられるなど、まさに市民参加の開かれたボランティアセンターと言えそうです。



登録ボランティアグループのリーダー会

す。取材の日も、登録ボランティアグループのリーダー会が開かれており、活発なミーティングが行われていました。

『ぶらっと』のオープンで、多くの世代による多彩な分野での活動、プログラムのさらなる充実が期待されます。さまざまな意味で「盗むべきもの」がいっぱいのボランティアセンターと言えそうです。



3

“声のボランティア”をはじめませんか

活動内容：視覚障害者、墨字読書困難な方々に、声でいろいろなお手伝いをします。音訳、図書館の録音図書（テープ図書）作成、対面朗読（箕面市立各図書館にて）など

日時：毎週金曜日 10:00～12:00

場所・沿線：箕面中央図書館（箕面市箕面5-11-23/阪急箕面線 箕面駅 徒歩10分）
障害者福祉センター（箕面市西小路3-9-2/阪急箕面線 箕面駅 徒歩15分）

募集対象：成人(概ね10～50歳代)、初心者歓迎

問合せ先：TEL 06-6849-0231 FAX 06-6846-4498
大阪北生協 組合員活動部

Vクリッピングボード

ボランティアをやってみたい！
そんなあなたに耳寄りな情報満載



さあ、ボランティアしよう!

〈ご利用にあたって〉

ボランティア活動へ参加を希望される方は、事前に各団体にお問い合わせの上、条件等を話し合ってから、参加してください。

●このコーナーに記載の情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ovn.gr.jp/>

4

パソコンのできる方、福祉系NPOの事務を手伝ってませんか

活動内容：事務作業電話の受付、会計処理、パソコンのデータ入力、ワープロの文字入力、書類のファイリングなどができる方

日時：月曜日～金曜日で月1回程度 10:00～17:00で3時間以上

場所：ナイト・ケア吹田（吹田市山手町3-23-23）

沿線：阪急千里線 豊津駅 徒歩10分

募集対象：専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10～60歳代以上)、初心者歓迎、吹田市及び近隣市在住の方

費用：交通費は支給、食事は自己負担

問合せ先：TEL 06-6337-8112 FAX 06-6337-7020
特定非営利活動法人ナイト・ケア吹田

*高齢者・障害者のための在宅福祉及び介護に関する事業等を行っている団体です。

1

温水プールで体験ダイビング!

活動内容：身体障害者の体験ダイビングの介助（陸上、水中）。

日時：2003年1月19日(日)、3月2日(日)、5月11日(日)、7月6日(日)、9月7日(日)、11月9日(日) 12:00～17:00

場所：和歌山県白崎海洋公園内 温水プール（和歌山県日高郡由良町大引960-1）

沿線：JR紀勢本線 紀伊由良駅 バス25分

募集対象：陸上でのスタッフ（障害者の介助等）、ダイビングスタッフ、手話を勉強中の方やできる方歓迎

費用：参加費 13800円（税別）

問合せ先：TEL 06-6572-8677 FAX 06-6572-8677
NPO法人 IAHJ JAPAN 関西（国際障害者ダイビング指導協会）

*持ち物：水着、タオル、飲み物

*まずIAHJ関西までお問い合わせください。申込用紙などの必要書類を送付します。なお、定員になり次第締切らせていただきます。

*ダイビングを体験してみたい障害者の方も募集します。

5

子どもたちと一緒に、温水プールで遊んでください

活動内容：知的障害のある小学生（低学年）と一緒に、温水プールで、週1回、水遊びをしたり泳ぎを教えて下さい。

日時：水曜日 15:00～16:00

場所：泉佐野市 健康増進センター内プール

沿線：南海本線 泉佐野駅 バス10分

募集対象：専門学校・短期大学・大学生、成人(概ね10～20歳代)、グループでの参加歓迎

費用：プール入場代および交通費負担

問合せ先：TEL 0724-66-3580 FAX 0724-66-3820
つくしんぼの会（担当/広岡 世津子）

2

アイバンクの登録キャンペーンを手伝ってください

活動内容：街頭、あるいはイベント会場などでのパンフレット・チラシ等の配布、会運営のお手伝い

日時：日曜日 月に1～2回 10:00～16:00頃

場所：大阪府内のイベント会場

募集対象：高校生以上の方、初心者歓迎、親子での参加歓迎

費用：交通費1000円まで支給

問合せ先：TEL 0728-48-0937
アイバンク友の会（担当/登録幸治（せいろくこうじ））

*現在、全国で5400人の方が角膜移植を待っています。今、手術を申し込みしても3年待機しなければなりません。ぜひ、アイバンク運動にご協力ください。



7 読み聞かせや手作り遊び教室のボランティアスタッフを募集

活動内容：図書貸し出し、絵本紙芝居の読み聞かせ、手作り遊び教室など、在宅や施設での継続的なボランティア活動をしています。
日時：毎週水曜日（春・夏・冬休み期間中は休み）15:00~16:00
場所：コープ西緑丘 ふれあいセンター西緑丘（豊中市西緑丘1-1-38）
沿線：阪急宝塚線 豊中駅 バス15分
募集対象：成人（概ね10~50歳代）、初心者歓迎
問合せ先：TEL06-6849-0231 FAX 06-6846-4498
大阪北生協 組合活動部
*詳細は、組合活動部までお気軽にお問い合わせ下さい。
*くれよん文庫の活動内容等は、パソコンで確認できます。
http://kyoto.cool.ne.jp/kurevonbunko/index.htm



6 障害者の外出を応援して下さい！ 初心者歓迎！

活動内容：施設で生活している知的・身体障害者と一緒に外出して下さるボランティアを募集。大阪府内の入所施設へ迎えに行き、そこから外出先への付き添い。行き先は当人の希望に応じ、買い物・映画・コンサートなど。
日時：主に土・日曜日
場所：大阪府内の施設から外出先
おもな施設：福泉療養院（堺市）、今宮自衛館（大阪市西成区）、身障センター（堺市）、みおつくしの社（吹田市）、富田林苑、わらしべ園（枚方市）、光園（泉佐野）など
募集対象：高校生以上、どなたでも。初心者歓迎（研修あり）
費用：交通費全額支給。活動中の飲食費はできません
問合せ先：TEL 06-6607-8260 FAX 06-6607-5503
E-Mail lifenet@nuc.odn.ne.jp
ライフ・ネットワーク（担当/樽尾）
*地下鉄御堂筋線・JR阪和線 長居「ライフ作業所」

情報コーナー

YMCA自立支援シンポジウム
LDおよびその周辺の子どもたちを支援するために
日時 1月13日（祝）午後1時~5時
場所 大阪YMCA会館2階ホール
（大阪市西区土佐堀1-5-6）
内容 講演とパネルディスカッション
参加費 1500円（資料代） 定員 150名
問合せ 大阪土佐堀YMCA
TEL 06 (6441) 0895

LD（学習障害）児のためのボランティア養成講座（2回連続）
日時 2月22日（土）午後1時30分~4時30分
3月1日（土）午後1時30分~4時30分
場所 大阪YMCA会館（大阪市西区土佐堀1-5-6）
参加費 2000円 定員 50名
問合せ 土佐堀YMCAウエルネスセンター
TEL 06 (6441) 0895
FAX 06 (6225) 9843



精神保健福祉ボランティア連続講座
精神障害者について正確な知識を学び、良き隣人として、精神障害者が持つ「生活のしづらさ」を援助できるボランティアを育成します。
日時 1月17日（金）/1月24日（金）/1月31日（金）/2月6日（木）/2月28日（金）のいずれも午後2時~4時。および2月1日（土）~27日の間の3日間（同一施設での実習）の計6プログラム
場所 サポートやお（実習は各施設）
定員 40名（応募者多数の場合は抽選） 参加費 無料
締切り 1月15日（水）まで
申込み サポートやお TEL 0729 (25) 1045

第10回 豊中ボランティアフェスティバル
日時 2月16日（日）午前10時~午後3時30分
場所 豊中市民会館（阪急曽根駅から徒歩5分）
内容 ふれあいステーション・ファミリーボランティア体験コーナー
I・障害者福祉作業所出張店など
問合せ 豊中市社会福祉協議会ボランティア活動推進センター（ぶらっと）
TEL 06 (6848) 1000

入門点訳ボランティア講座
日時 1月23日~3月27日 毎週木曜 午後1時30分~3時30分（計10回）
場所 健康福祉センター 3階 講座室
講師 野村悦子氏
対象 点訳ボランティアに興味のある方
参加費 無料（テキスト代1050円）
問合せ 柏原市社会福祉協議会 柏原市ボランティアセンター
TEL 0729 (72) 6760

大阪府市町村ボランティア連絡会 河南ブロック交流会
日時 3月7日（金）午前10時30分~午後3時
場所 LICはびきの
問合せ 羽曳野市社会福祉協議会 担当・居間
TEL 0729 (58) 2315
FAX 0729 (58) 3853

泉南市ボランティアフェスティバル
日時 3月30日（日）
場所 泉南市総合福祉センター（アイピア泉南）
内容 泉南市内で活動しているボランティアグループの活動紹介と交流
問合せ 泉南市ボランティアセンター
TEL&FAX 0724 (83) 0294
TEL 0724 (82) 1027
FAX 0724 (82) 1618

平成15年度シルバードバイザー養成講座受講者募集
地域福祉活動を推進するボランティアを養成
期間 および曜日 平成15年5月~平成16年3月（毎週月曜）
場所 大阪府立老人総合センター（吹田市山田北3-1）
内容 基礎課程、専攻コース、サークル活動
対象 府内在住の、平成15年4月1日時点で満60歳以上（昭和18年4月1日以前生まれ）の方
参加費 無料
問合せ 大阪府立老人総合センター
TEL 06 (6876) 0031（代）

ボランティア・市民活動保険のごあんない

取扱保険会社：三井住友海上火災保険株式会社

| ボランティア活動中の事故に備えて ボランティア保険 | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|---|--|------------|-------------------|-------------------|--|--|-------|-------|-------|----|---|-------|
| 補償内容 | ボランティアがボランティア活動中に、①偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」、②第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」、③ボランティア活動中に死亡し、「傷害保険」の給付対象にならない場合の「死亡見舞金」の3つの制度がセットされています。 | | | | | | | | | | | | |
| 補償金額 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>損害部分</th> <th>Bプラン</th> <th>Cプラン(天災担保)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人のケガ</td> <td>死亡・後遺障害 2157.5万円 入院(1日あたり) 8,700円 通院(1日あたり) 5,600円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額</td> <td>死亡・後遺障害 1060万円 入院(1日あたり) 5,900円 通院(1日あたり) 3,800円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額</td> </tr> <tr> <td>特定感染症</td> <td>補償します</td> <td>補償します</td> </tr> <tr> <td>天災</td> <td>×</td> <td>補償します</td> </tr> </tbody> </table> | 損害部分 | Bプラン | Cプラン(天災担保) | 本人のケガ | 死亡・後遺障害 2157.5万円 入院(1日あたり) 8,700円 通院(1日あたり) 5,600円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 死亡・後遺障害 1060万円 入院(1日あたり) 5,900円 通院(1日あたり) 3,800円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 特定感染症 | 補償します | 補償します | 天災 | × | 補償します |
| | 損害部分 | Bプラン | Cプラン(天災担保) | | | | | | | | | | |
| 本人のケガ | 死亡・後遺障害 2157.5万円 入院(1日あたり) 8,700円 通院(1日あたり) 5,600円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 死亡・後遺障害 1060万円 入院(1日あたり) 5,900円 通院(1日あたり) 3,800円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | | | | | | | | | | | |
| 特定感染症 | 補償します | 補償します | | | | | | | | | | | |
| 天災 | × | 補償します | | | | | | | | | | | |
| 賠償部分 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>対人</th> <th>対物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対人、対物共通 最高 4億円</td> <td>対人、対物共通 最高 4億円</td> </tr> </tbody> </table> | 対人 | 対物 | 対人、対物共通 最高 4億円 | 対人、対物共通 最高 4億円 | | | | | | | | |
| 対人 | 対物 | | | | | | | | | | | | |
| 対人、対物共通 最高 4億円 | 対人、対物共通 最高 4億円 | | | | | | | | | | | | |
| 見舞金 | 死亡 本人の死亡 30万円 | | | | | | | | | | | | |
| 掛金 | ボランティア1名 年間(中途加入でも同じ) 500円 / 700円 | | | | | | | | | | | | |
| 加入できる人や対象となる活動 | ・無償であること(交通費、食事代など除く) ・自助活動ではないこと ・活動のための会議や、往復途上も含む | | | | | | | | | | | | |
| 保険有効期間 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入の場合は受付日の翌日から) | | | | | | | | | | | | |

| 各種イベント参加者の補償に ボランティア・市民活動行事保険 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|---|-----------|-----------|-------|---|---|------|--------------------------------|--------------------------------|------|----------------|----------------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| 補償内容 | ボランティア団体や各種の市民団体が主催する行事の参加中に、①参加者が偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」と②主催者または参加者が第三者の身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」の2つの制度がセットされています。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補償金額 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>損害部分</th> <th>I型(宿泊なし)</th> <th>II型(宿泊あり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人のケガ</td> <td>死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額</td> <td>死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額</td> </tr> <tr> <td>賠償部分</td> <td>対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円</td> <td>対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円</td> </tr> <tr> <td>対物</td> <td>1事故あたり 最高500万円</td> <td>1事故あたり 最高500万円</td> </tr> </tbody> </table> | 損害部分 | I型(宿泊なし) | II型(宿泊あり) | 本人のケガ | 死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 賠償部分 | 対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 | 対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 | 対物 | 1事故あたり 最高500万円 | 1事故あたり 最高500万円 | | | | | | | | | | | | |
| | 損害部分 | I型(宿泊なし) | II型(宿泊あり) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本人のケガ | 死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 賠償部分 | 対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 | 対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 対物 | 1事故あたり 最高500万円 | 1事故あたり 最高500万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 見舞金 | 死亡 本人の死亡 30万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 掛金 | <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">I型</th> <th colspan="3">II型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A区分</td> <td>30円</td> <td>1泊2日</td> <td>248円</td> <td>4泊5日</td> <td>328円</td> </tr> <tr> <td>B区分</td> <td>128円</td> <td>2泊3日</td> <td>256円</td> <td>5泊6日</td> <td>336円</td> </tr> <tr> <td>C区分</td> <td>251円</td> <td>3泊4日</td> <td>264円</td> <td>6泊7日</td> <td>344円</td> </tr> </tbody> </table> | | I型 | | II型 | | | A区分 | 30円 | 1泊2日 | 248円 | 4泊5日 | 328円 | B区分 | 128円 | 2泊3日 | 256円 | 5泊6日 | 336円 | C区分 | 251円 | 3泊4日 | 264円 | 6泊7日 | 344円 |
| | I型 | | II型 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A区分 | 30円 | 1泊2日 | 248円 | 4泊5日 | 328円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B区分 | 128円 | 2泊3日 | 256円 | 5泊6日 | 336円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C区分 | 251円 | 3泊4日 | 264円 | 6泊7日 | 344円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 加入できる人や対象となる活動 | ボランティア団体や市民団体が主催する行事 (スポーツ活動や自助活動も含む) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保険有効期間 | 行事期間中 (開催1週間前までに受付が必要) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 各種NPO団体等の活動に 非営利・有償活動団体保険 | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|---|------|------|-------|--|---|------|----------------------------|----------------------------|----|-------|--|
| 補償内容 | ボランティア保険の対象外で、有償活動を行う団体が活動中に、①スタッフが偶然な事故によってケガをした場合の「傷害保険」と②利用者などの身体や財物に損害を与えた場合の「賠償責任保険」がセットされています。 | | | | | | | | | | | | |
| 補償金額 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>損害部分</th> <th>Aプラン</th> <th>Bプラン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人のケガ</td> <td>死亡 202万円 後遺障害 6~202万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額</td> <td>死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額</td> </tr> <tr> <td>賠償部分</td> <td>対人 1名あたり 1億円 1事故あたり 2億円</td> <td>対人 1名あたり 1億円 1事故あたり 2億円</td> </tr> <tr> <td>対物</td> <td colspan="2">500万円</td> </tr> </tbody> </table> | 損害部分 | Aプラン | Bプラン | 本人のケガ | 死亡 202万円 後遺障害 6~202万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 賠償部分 | 対人 1名あたり 1億円 1事故あたり 2億円 | 対人 1名あたり 1億円 1事故あたり 2億円 | 対物 | 500万円 | |
| | 損害部分 | Aプラン | Bプラン | | | | | | | | | | |
| 本人のケガ | 死亡 202万円 後遺障害 6~202万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 死亡 500万円 後遺障害 15~500万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | | | | | | | | | | | |
| 賠償部分 | 対人 1名あたり 1億円 1事故あたり 2億円 | 対人 1名あたり 1億円 1事故あたり 2億円 | | | | | | | | | | | |
| 対物 | 500万円 | | | | | | | | | | | | |
| 見舞金 | 死亡 本人の死亡 30万円 | | | | | | | | | | | | |
| 掛金 | Aプラン 4,900円 / Bプラン 6,300円 | | | | | | | | | | | | |
| 加入できる人や対象となる活動 | 営利目的ではないか利用者から実費を越える報酬を得ている活動、団体 | | | | | | | | | | | | |
| 保険有効期間 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入者は翌々月1日~) | | | | | | | | | | | | |

| 移送サービス活動に 移送中事故傷害保険 | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|---|------------|------------|-------|---|---|------|--------------------------------|--------------------------------|----|-------|--|
| 補償内容 | 移送サービス事業の活動中に、車輦に搭乗中の加入者や利用者がケガをした場合、実施主体の責任の有無に関係なく補償します。 | | | | | | | | | | | | |
| 補償金額 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>損害部分</th> <th>I型(車輦特定)</th> <th>II型(車輦不特定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本人のケガ</td> <td>死亡 2,260万円 後遺障害 79.8~2,660万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額</td> <td>死亡 1,923万円 後遺障害 57.7~1,923万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額</td> </tr> <tr> <td>賠償部分</td> <td>対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円</td> <td>対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円</td> </tr> <tr> <td>対物</td> <td colspan="2">500万円</td> </tr> </tbody> </table> | 損害部分 | I型(車輦特定) | II型(車輦不特定) | 本人のケガ | 死亡 2,260万円 後遺障害 79.8~2,660万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 死亡 1,923万円 後遺障害 57.7~1,923万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 賠償部分 | 対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 | 対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 | 対物 | 500万円 | |
| | 損害部分 | I型(車輦特定) | II型(車輦不特定) | | | | | | | | | | |
| 本人のケガ | 死亡 2,260万円 後遺障害 79.8~2,660万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | 死亡 1,923万円 後遺障害 57.7~1,923万円 入院(1日あたり) 3,000円 通院(1日あたり) 2,000円 手術保険金/入院保険金日額に手術の種類に応じた倍率を乗じた額 | | | | | | | | | | | |
| 賠償部分 | 対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 | 対人 1名あたり 最高1億円 1事故あたり 最高2億円 | | | | | | | | | | | |
| 対物 | 500万円 | | | | | | | | | | | | |
| 見舞金 | 死亡 本人の死亡 30万円 | | | | | | | | | | | | |
| 掛金 | I型 2,000円(車定員1名あたり) / II型 2,000円(記名利用者1名あたり) | | | | | | | | | | | | |
| 加入できる人や対象となる活動 | 移送サービスを実施するサービス実施主体の運転者、同乗のスタッフがその利用者 | | | | | | | | | | | | |
| 保険有効期間 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで (中途加入者は翌々月1日~) | | | | | | | | | | | | |

市町村の社会福祉協議会へ保険料とともに申し込みください



三井住友海上火災保険株式会社

ホームページ www.ms-ins.com カスタマーセンター ☎ 0120-63-2277

携帯電話・PHSからはTEL.03-3615-3111 受付時間 平日9:15~20:00 土日祝日9:15~17:00

各種損害保険・生命保険取扱 島本保険事務所

〒541-0054 大阪市中央区南本町3丁目5番14号 有楽ビル3階

TEL.06-6252-4519 FAX.06-6245-4686